

2008年9月11日

企業会計基準委員会と国際会計基準審議会が会合し、 会計基準のコンバージェンスに向けた進捗状況を確認

企業会計基準委員会
国際会計基準審議会

企業会計基準委員会(ASBJ)と国際会計基準審議会(IASB)は、日本基準と国際財務報告基準(IFRSs)とのコンバージェンスを加速することを目的とする第8回の会合を、ロンドンで開催しました。この会合は、ASBJの西川委員長、IASBのDavid Tweedie議長主導の下、9月8日及び9日の2日間行われました。

今回の会合では、IASBからは、IASBとFASBとの間で2006年に合意された覚書(Memorandum of Understanding (MOU))を履行するための計画の最新版及び中長期項目を含むプロジェクトの進捗状況が説明されました。

これに対して、ASBJからは、東京合意を踏まえて2007年12月に公表したプロジェクト計画表に示された各項目の進捗状況について説明し、両者は、日本基準と現行IFRSとの間の重要な差異(2005年7月の欧州証券規制当局委員会(CESR)による同等性評価案で示されたもの)に関する2008年末までのコンバージェンス・プロジェクトが予定通りに進んでいることを確認しました。さらに、ASBJからIASBの作業計画を踏まえた継続的なコンバージェンスへの取組みについて説明を行いました。

そして、IASBが最近公表したディスカッション・ペーパーや公開草案のテーマとなっている以下の重要項目について、意見交換を行いました。

- 概念フレームワーク
- 金融商品(現行基準の置換え)
- 負債と資本の区分
- 退職後給付(年金を含む)

ASBJからは、金融商品、退職後給付といったMOU項目について、IASBのディスカッション・ペーパーをたたき台に、今後ASBJでディスカッション・ペーパーを公表することを通じて、コンバージェンスに積極的に取り組むことも説明しました。

両者は、このような議論は、中長期的に改善を図る重要な項目の今後の高品質な会計基準の開発に寄与するものと考え、IASBでの基準開発に積極的に参画するためのASBJからの派遣スタッフの増員を含め、引き続き両者の緊密な連携が不可欠であることを再確認しました。

西川郁生 ASBJ委員長は、今回の会合について次のように述べました。

「MOU項目などの重要項目に関するASBJとIASBとの継続的な意見交換が、高品質な会計基準の開発に寄与するものと信じています。ASBJは、IASBとの会合や双方のスタッフの緊密な協力（ASBJからの派遣スタッフの増員を含む）を通じて共同で達成される前進をさらに高度なものとし、IASBの新しい作業計画を踏まえ2011年に向けてコンバージェンスに引き続き取り組んでいくつもりです。」

David Tweedie IASB 議長は、次のようにコメントしました。

「IASB と ASBJ との協力関係は、ここ数年、特に東京合意を経て、強固なものとなっています。IASB と FASB との間の MOU で示されている計画を左右する重要な各プロジェクトについて、ASBJ と定期的に議論ができるこのような機会は我々にとってありがたいことです。こうした議論は、IASB が高品質な基準を生み出せるようにすることに疑いもなく寄与するものです。」

次回の共同会議は、2009年3月に東京で開催する予定です。

編集担当者への注釈：

「東京合意」とは、2007年8月8日においてASBJとIASBが行った共同声明であり、当初、2005年3月に公表されたIFRSと日本基準間のコンバージェンス・プログラムを加速化する取組みである。この取組みの目的は、日本基準と現行のIFRSの間の重要な差異（2005年7月の欧州証券規制当局委員会(CESR)による同等性評価案で示されたもの）について2008年までに解消し、両者で識別された残りの差異を2011年6月までに取り除くことにある。2011年という目標期日は、現在開発中であって2011年以後に適用となる新たな主要なIFRSについては適用しないものとしているが、両者は、新たな基準が適用となる際に日本において国際的なアプローチが受け入れられるように、緊密に作業を行うこととしている。

企業会計基準委員会(ASBJ)について

ASBJは、2001年7月に民間部門の機関として設立された。ASBJが開発した会計基準は、一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として、金融庁により認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の対応する機関とコミュニケーションを取り、世界的な会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ホームページ www.asb.or.jp/index.php をご参照いただきたい。

国際会計基準審議会(IASB)について

国際会計基準審議会(IASB)は、2001年に設立されたIASC財団の基準設定機関であり、独立した民間の非営利組織である。IASBは、公益に資するよう、一般目的財務諸表において透明性があり比較可能な情報を提供する、高品質かつ国際的な会計基準の単一のセットを開発することを公約している。この目的を追求するため、IASBは、広範にわたる公開の協議を行っているほか、世界中の国際機関や各国機関と協力している。その14人のメンバー（うち12人は常勤）は、9か国から選ばれ、幅広い職務上の経歴を有している。彼らは、IASC財団の評議員会から選任されるとともに、これに対して説明責任を負っており、専門的な能力と、国際

的なビジネス及び市場に関する経験の多様性に関して、選択し得る最良の組み合わせを選択することが要求されている。